

令和4年度静岡県学生科学賞募集要項

静岡県科学教育振興委員会

1 目的

人類の未来を担う青少年にとって、科学的教養と技術を身に付けることは、人間形成の上からも極めて大切なことである。

この趣旨を踏まえ、学生科学賞を設けることにより、児童生徒の「科学の眼」を開き、自然を探究する情熱を喚起する機会とする。

2 応募資格

県内小学校（義務教育学校の前期課程を含む。以下同じ。）、中学校（義務教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）、高等学校、特別支援学校の児童、生徒（個人又はグループ）で、次の推薦によって出品する。

- (1) 浜松市を除く市町立及び国立小・中学校は、静岡県教育研究会理科教育研究部支部（以下、「静教研理科支部」という。）の長
- (2) 浜松市立小・中学校は、浜松市教育研究会理科教育研究部（以下、「浜松市教研理科研究部」という）の長
- (3) 高等学校、特別支援学校、県立高等学校中等部、私立小・中学校の校長

3 研究作品の内容

- (1) 理科学習に基礎を置く研究内容をまとめたものであること。
- (2) 物理、化学、生物、地学、広領域の分野を対象とし、学生科学賞の趣旨に沿い、自分で取り組んだ研究であること。

なお、コンピュータを使った問題解決方法やCG、アニメなどの研究を対象とした作品は広領域として応募すること。

- (3) 日常の努力、真剣な研究態度、伸び伸びとした発想等に基づく研究であれば、未完成のもの、中間報告、あるいは結論を得なかったものでも応募して差し支えない。

ただし、探究の過程が研究作品から読み取れるものとする。

- (4) **金銭をかけ過ぎた作品は避けること。また、同年代の児童生徒が理解できる内容とする。**

4 研究作品の規格等

- (1) 研究作品は、A4判（無けい又は横けい）の用紙又はノートを用いる。小学生についてのみ、B5判、B4判も可とする。（大型模造紙は認めないので注意する。）
- (2) いずれも表紙を付けた造本とする。図表等もこれに準ずる。

5 応募の方法

- (1) 応募作品の選出及び応募作品推薦書の作成

ア 市町立及び国立小・中学校

各静教研理科支部及び浜松市教研理科研究部の指示による。

イ 各静教研理科支部及び浜松市教研理科研究部

(イ) 各静教研理科支部及び浜松市教研理科研究部にて審査を行い、別表に示す作品数

以内で、順位を付けて選出する。

(イ) 別紙様式1により応募作品推薦書を作成する。

ウ 県立高等学校中等部及び私立小・中学校

(ア) 学校ごとに審査を行い、1点を選出する。

(イ) 別紙様式2により、応募作品推薦書を作成する。

エ 高等学校

(ア) 学校ごとに審査を行い、3点以内を、順位を付けて選出する。

(イ) 別紙様式3により、応募作品推薦書を作成する。

オ 特別支援学校

(ア) 学校ごとに審査を行い、小学部・中学部からは1点、高等部からは3点以内を、順位を付けて選出する。

(イ) 別紙様式4により、応募作品推薦書を作成する。

(2) 出品票の添付

応募作品には、次のア～オに留意して作成した出品票（「出品票の様式」参照）を1点につき1枚添付する。

ア ケント紙又は画用紙で、**はがき大（100×150mm）**とする。

イ 「出品票区別線」欄を、小学校(小学部)は黄色、中学校(中学部)は青色、高等学校(高等部)は赤色に着色する。

ウ グループの場合は、「氏名」欄に代表者氏名を記入した上で「他○人」と記入する。

エ 同一人又は同一グループの応募作品が2個以上の場合は、「**個数番号**」欄に**個数と番号を3-2**（3個口のうち2個目の意）のように記入する。（**1個の場合には斜線を書く。**）

オ 「研究作品の説明」欄は、目的、特徴、内容の概要、研究過程、経費、指導・援助等必要な事項について記入する。

(3) 応募上の注意

ア 他の賞と重複して応募しないこと。

イ 製作物は添付せず、図表等によって替える。ただし、特に必要な場合は、事前に静岡県総合教育センター総合支援部小中学校支援課内「学生科学賞係」に連絡し、指示を受ける。

ウ パソコン用CDなどのデータ類を提出する際は、審査会で閲覧できない場合があるので、プリントアウトした用紙を添付する。

エ 散逸を防ぐため、個々の作品に必ず学校名、氏名を記入する。（氏名にはふりがなを付ける。）

オ 応募作品には、必ず参考にした文献や資料を明記する。

- ・用いた文献・資料のタイトル、著者名、掲載誌名、発行年度などを記入する。
- ・インターネットで調べたものはURLも記入する。

(4) 応募作品の送付

次のア、イを静岡県総合教育センター総合支援部小中学校支援課内「学生科学賞係」宛てに郵送する。

ア 応募作品

イ 応募作品推薦書（別紙様式1～4）

紙媒体1部を応募作品と同梱するとともに、電子媒体を9月26日（月）までに電子

メールにより送信する。

アドレス sogokyouiku-syouchu@pref.shizuoka.lg.jp

ファイル名及びメール件名 学生科学賞推薦書〇〇支部（〇〇学校）

(5) 提出先

〒436-0294 掛川市富部456

静岡県総合教育センター総合支援部小中学校支援課内「学生科学賞係」

電話番号 0537-24-9730

(6) 受付期間

令和4年9月20日(火)から9月26日(月)まで **(26日(月)必着)**

(7) その他

提出に要する経費、応募途中の事故についての責任は応募者が負うものとする。

6 審査基準

児童生徒の発達段階に応じ、次の観点を主とする。

(1) 理科学習に基礎を置く内容であるか。

自発性、既習事項との関連、指導・援助の程度等を考慮する。

(2) 創意工夫があるか。

計画、着眼、材料等の選び方、構想、方法等について創意工夫があるかを考慮する。

(3) 研究の方法が科学的であるか。

研究の過程とまとめ方の科学的価値、発展性等を考慮する。

(4) 継続的な努力がみられるか。

7 賞

(1) 入賞

ア 県知事賞 3点（たて及び賞状を授与する。）

小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）から各1点

イ 県教育長賞 6点（たて及び賞状を授与する。）

小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）から各2点

ウ 県科学教育振興委員会賞 21点（賞状を授与する。）

小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）から各7点

※入賞数は、応募作品総数により予定を下回る場合もある。

(2) 参加賞

県審査に推薦された小中学生の応募者に参加賞を授与する。

なお、原則として、グループ研究の場合、参加賞の授与は3点までとする。

8 表彰式

(1) 日時 令和4年11月5日(土) 午前10時30分から(予定)

(2) 場所 県庁別館21階展望フロア

静岡市葵区追手町9番6号 電話番号 054-221-3143

9 作品の返却

入賞作品決定後に返却する。

10 その他

日本学生科学賞中央審査への応募

中学校、高等学校の優秀作品（各3点以内）を中央審査に応募する。この応募方法については、後日改めて指示する。（小学校の作品は対象外）

出品票の様式

(のり付又はひも付)			
出品票区別線			
作品名		個 数 番 号	
学校名	(学 校 所 在 地)		
	(学 校 名)		
(ふりがな) 氏 名		学 年	
研 究 作 品 の 説 明	(横 書 き) 裏面まで記入してよい。		

※はがき大（100×150mm）とする。